

# ROTARY : Making a Difference



第2780地区  
大磯ロータリークラブ



ロータリー：  
変化をもたらす

2017～2018年度RI会長  
イアン H.S. ライズリー

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

★事務所：神奈川県平塚市豊原町22-13 TEL/FAX：0463-36-2255

★例会：第1・第3木曜日 12:30～13:30 大磯プリンスホテル TEL：0463-61-1111 FAX：0463-61-6281  
会長 新宅 文雄 会長エレクト 守屋 紀忠 幹事 田中 敏治

第2419回 RI 2780地区例会

平成29年9月18日 No.7

## I. 会長幹事会、地区指導者育成セミナー及び RI会長歓迎晩餐会：

日時：2017年9月17日(日)

場所：小田急ホテルセンチュリー相模大野 参加者：新宅会長、田中幹事、河本PDG

## II. 新世代交流会：

日時：2017年9月18日(敬老の日)

場所：小田急ホテルセンチュリー相模大野  
参加者：米山奨学生イスラーム・アシュラフ君、  
青少年交換ティタス・ダンケル君、新宅会長

## III. 本会議：

日時：2017年9月18日(敬老の日)

場所：相模女子大学グリーンホール  
参加者：新宅、守屋、桜川、河本、田中他  
友愛コーナー：イスラーム君

## IV. 大懇親会：

場所：小田急ホテルセンチュリー相模大野

今大会は台風8号の接近で大荒れの天気を危惧したが、幸い進路が西寄りとなり直撃を避ける幸運に恵



まれ、穏やかな日和となりました。

会長幹事会：12:30～14:20

1. 四種委員会報告
2. 大会決議採択
3. 前年度会計報告、監査報告

## 4. 地区9委員会報告

地区指導者育成セミナー：14:30～17:00

RI理事エレクト三木明氏による講演：

## これからのロータリーを考える 規程審議会から見えるもの

パワーポイントスライド75枚を使ってのお話がありました。そのうち17枚のスライドを添付します。

## 学友講演：

- ・米山記念奨学会・学友リ・イエンさん  
(2002-04年、茅ヶ崎RC)

## 「明るい未来がきっと来る」



わずか来日時僅か3千円しかなかった手持ち金しかなく、1日1食の苦しい生活で始まった事態から働いて2食食べられるようになり、2年後に米山奨学会の資金援助を受けて3食摂れるようになり、無事卒業できた事。その後、母1人子1人で病気になった母を中国から日本に引き取り、病気を療養させていた。言葉の問題で何人かの医師の診察を受けたが、日本の医師の診断が得られず、

あと2週間足らずで母親の滞在ビザが切れ、自分も一緒に帰らざるを得ない状況に押し詰められていた時にロータリーの支援を得て医師の診断を得ることが出来、ビザの延長が出来、療養が続けられ、自分も日本で仕事が続けられることになり、今日の自分がある。ロータリーの皆さんに感謝の気持ちを伝えたい。

・2016-17年地区財団奨学生米山明里さん

「ロータリーで培った人脈」



パリに留学され、現地のロータリーのホストファミリーとの交流、大学での世界各国からの学生との交流などから出来た人脈を今後の自分の仕事に生かして行きたいと貴重な経験をスライドを使って報告がありました。

報告がありました。

RI会長歓迎晩餐会：京都祇園甲部の芸妓さん、舞妓さんによる祝舞踊で幕開き、参加者300人を超える賑やかで華やいだ楽しい晩餐会になりました。



本会議：

RI会長代理鈴木宏氏のメッセージは58枚のスライドを使って今年度のRI会長方針：「ロータリー：変化をもたらす」の解説、本年度の目標、ロータリーの歴史、ロータリーの精神的支柱=ロータリーのモットー：“Service Above Self” 及び “He Profit Most Who Serve Best” を語り、原点に戻り



「自分達でクラブの計画を作り、目標を決め自分達の夢に向かって進むこと」を通して「組織の成長と友愛の深まり」を得ることが出来るのではないのでしょうか。

と熱弁を振るわれ、大喝采、スタンディングオベーションが出る程でした。

記念講演：ジュディ・オングさんによる「輝いて生きる」は大ヒット曲「魅せられて」のエピソードから始まり、音楽活動でのチャリティイベントで「台湾大地震」、「東日本大震災」の支援、台湾政府より「文化親善大使」の名誉受賞、ポリオ撲滅大使としての活動等縦横の話しで聴衆を魅了しました。

アトラクション：「能」高砂



演者はシテ松山孝雄氏(国・無形文化財保持者、相模原南RC会員)

大懇親会：300人を超える大賑わいの立食パーティで、最後は恒例の「手に手つないで」の大合唱で目度くお開きとなりました。

